

平成 31 年 4 月 19 日

教 育 長 様

代表者 校 園 名 :	大阪市立中野小学校	校印
校 園 長 名 :	牧野 美奈子	
電 話 :	6352-3258	F A X : 6352-7381
事務職員名 :	間地 豊	
申請者 校 園 名 :	大阪市立中野小学校	
職名・名前 :	校長・牧野 美奈子	
電 話 :	6352-3258	F A X : 6352-7381

研究コース
グループ研究B
校 園 コード (代表者校 園 の市費コード)
521031

平成31年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	グループ研究B	研究年数	1
2	研究テーマ	「夢に向かって自主的・実践的に取り組む子どもたちを育む学級活動の探究」			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。</p> <p>○望ましい集団活動を基盤として、なすことによって学ぶ「学級活動」を推進する。特に、新教育課程を見据えた実践研究を進める。</p> <p>○望ましい人間関係の形成、諸問題を自分達の力で解決していこうとする主体的・実践的な態度や力の育成を通して、学級経営や集団づくりに寄与する。</p> <p>○全教育活動と学級活動との関連を重視した実践等を目指すと共に、その過程で学級活動の指導方法の可視化に努める。</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。</p> <p>(1) 研究の視点</p> <p>① 子ども達が望ましい集団活動を通して、「自分自身をしっかりと見つめ、よりよい生き方を目指すと共に、所属する集団がよりよい方向を目指すように努力する」ことができるようになるための支援・援助のあり方を、学年段階や実態等を踏まえて実践的に研究する。</p> <p>② 学級活動を学級経営の中心に置き、子ども達の「前向きに生きようとする意欲」や「集団で問題解決する力」を高める支援・援助の手立てを工夫する。そのために、全教育活動と学級活動との関連を重視した実践等を目指し、その過程で学級活動の指導方法の可視化を図っていく。</p> <p>③ 学級活動の「評価のあり方」や「活用方法」を検討し、指導に生かせるようにする。</p> <p>(2) 研究の内容</p> <p>① 授業実践を通じた研究 (全体授業研究会 年間3回)</p> <p>② 話し合い活動を支える「よりよい支援・援助のあり方」を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いを「広め、深め、まとめる(決める)」ための、よりよい支援・援助のあり方 ・ 実践活動の充実・深化を図るための、よりよい支援・援助のあり方 <p>③ 実践に生かせる学級活動の評価方法を工夫し、個々の子どもや学級集団の変容を、形成的に評価する方法を工夫する。</p> <p>④ 全教育活動 (学級集団の育成も含む) と「学級活動」の指導との「よりよい関連」を明らかにする。そのことで、学級活動の支援・援助の方法の可視化を促進する。</p> <p>⑤ 大学における研究や、他の研究会等の研究発表の成果から学び、本研究部の研究活動のさらなる充実・発展に資するように努める。</p>			

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>5月 役員・幹事会、拡大運営委員会 6月 研究計画立案、低・中・高学年部会（各部の計画・役割分担等） 新任教員特別活動研修会（大阪市教育センター）実施 7月 拡大運営委員会、教育課程研修会・学習指導基本研修会（大阪市教育センター） 実施 8月 拡大運営委員会、新任教員特別活動研修会（大阪市教育センター）実施 第63回全国特別活動研究大会参加 9月 拡大運営委員会 10月 特別活動研修会（大阪市教育センター）実施、全体授業研究会① 11月 全体授業研究会②、全体授業研究会③、 第36回近畿特別活動研究協議会参加 12月 拡大運営委員会 1月 拡大運営委員会（紀要原稿検討等） 2月 拡大運営委員会（総合研究発表会打合せ）、研究発表会リハーサル、 総合研究発表会実施 3月 拡大運営委員会</p>									
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>(1) 低・中・高学年の段階に応じた活動（ふさわしい議題、話し合いのポイント）を工夫し、児童の課題解決力の向上を図る。 【検証方法】児童による「活動の振り返り」で集団や自己の決定に関して肯定的に捉える割合（話合って良かった等の内容）を70%以上にする。</p> <p>(2) 話し合い活動の各過程における「適切な支援・援助のあり方」を工夫・改善することにより、子ども達が議題を「自分事」としてとらえることができる。 【検証方法】1単位時間毎の子どもの自己評価、相互評価を実施して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。（例：すすんで意見を発表できたか、友達の意見を聞いて考えることが出来たか、決まったことをすすんで実行しようと思うか、等）</p> <p>(3) 事前・事後の指導も包括的に継続して指導する等、「学級活動を中心とした総合的な指導のあり方」を工夫することで、よりよい学級経営が促進される。 【検証方法】学級の雰囲気に関する質問紙調査等の肯定的回答を70%以上にする。（例：自分の学級でよかった、仲間と協力して話し合うことは大切だ、系の活動に進んで取り組んだ、話し合いで決めたことを最後までやり遂げた、等）</p> <p>(4) 他の研究団体と情報交流を行い、本研究部の活動に取り入れることで研究活動を深める。 【検証方法】特別活動に関する研究者や諸団体と年6回の交流によって視野を広める。</p> <p>(5) 学校における全ての教育活動における様々な指導が学級活動の実践には有効である。 【検証方法】学級活動の指導における「可視化」の促進につなげるため、指導案に「全教育活動との関連」として明記する。</p>									
8	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（2020年2月25日）までに必ず行ってください。 ○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="405 1666 1453 1722"> <tr> <td>日程</td> <td>2020</td> <td>年</td> <td>2</td> <td>月</td> <td>21</td> <td>日</td> <td>場所</td> <td>大阪市教育センター(or区民センター)</td> </tr> </table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	2020	年	2	月	21	日	場所	大阪市教育センター(or区民センター)
日程	2020	年	2	月	21	日	場所	大阪市教育センター(or区民センター)			
9	代表校園長のコメント	<p>「主体的・対話的で深い学び」を進めるには、学級活動の授業を計画的に実施することが重要である。また、児童の実態に即した題材や思いや願いを大切にした議題を扱うことによって教員の指導力向上が期待できる。 集団育成、学級経営、教師力等の育成という大阪市の教育課題の解決に大きく寄与する研究内容である。</p>									